

3/2

新たに6件を 大田原ブランドに認定 大田原ブランド認定証交付式



大田原市の知名度向上と産業の振興、地域活性化を目的として、本市の自然豊かな環境のもとで生産または加工製造された特に優れた特産品を「大田原ブランド」として認定しています。

平成30年度に始まり、今回で3回目となる認定審査において「縄文最中」、「那須御養卵」、「こだわりの郷」、「まっちゃんキムチ」、「那須の寿」、「岩上商店のこうじ、味噌、あまさけ、塩糰」の6件が新たに大田原ブランドに認定されました。

3/2

目指せ、地元開催国体出場！ いちご一会とちぎ国体に向けた相撲競技 強化校・強化選手指定



令和4年開催「いちご一会とちぎ国体」相撲競技の開催地である大田原市では、相撲競技国体出場選手の育成を目的に強化指定校並びに強化指定選手を平成29年から指定しています。今年も黒羽高校と若草中学校を強化指定校として、また13名の選手を強化指定選手として認定証を授与しました。市強化指定選手の中から、多くの選手が栃木県代表として大いに活躍することを期待します。

3/16

マスクを有効に活用して 効果的な感染予防対策を 介護サービス事業所へ市備蓄マスク配付



新型コロナウイルスの感染リスクの低減には、不織布マスクに布製マスクを重ねて使用するなど、飛沫が拡散しないようなるべく隙間が出来ないように装着することが重要です。

この度、大田原市では、市内の介護サービス事業所に対して、基本的な感染予防対策を再確認するきっかけになるよう、飛沫防止に効果的なマスクの装着方法を紹介するとともに、市が備蓄する不織布マスクを配付しました。

3/15

新入学児童へ J A栃木中央会からランチョンマットの寄贈



J Aグループ栃木「J A栃木中央会」から、市内小学校の新入学児童に対しランチョンマットが寄贈されました。

このランチョンマットには、栃木産の農畜産物をたくさん食べていただけるようアピールすると共に、学校給食を通して、児童の健やかな成長を願うものとなっています。

寄贈されたランチョンマットは入学式に配付しました。

3/22

医療従事者への感謝と地域貢献 キャノンメディカルシステムズ株式会社 から防護服の寄贈



野崎工業団地の医療用機器を開発、生産、販売するキャノンメディカルシステムズ株式会社より、新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止の一環として、不織布の防護服が寄贈されました。

当日は、高橋直樹取締役常務から津久井市長に2,500着が寄贈されました。

寄贈された防護服は、今後実施されるワクチン接種の際に配備し、感染防止対策として活用させていただきます。

3/17

2チーム同時出場！ 全日本小学生女子ソフトボール大会 出場選手表敬訪問



3月27日から鹿児島県で開催された「第14回春季全日本小学生女子ソフトボール大会」に、栃木県代表として出場した佐久山クラブ、奥沢ヴィーナスの選手が、大会出場前に市長を表敬訪問しました。

両チームとも思うような結果は残せませんでした。遠く薩摩の地で県代表としてプレーした経験を生かし、今後の更なる成長と活躍が期待されます。

3/24

感染リスク低減のため 有限会社橋本管材から水栓レバーハンドルの 寄贈

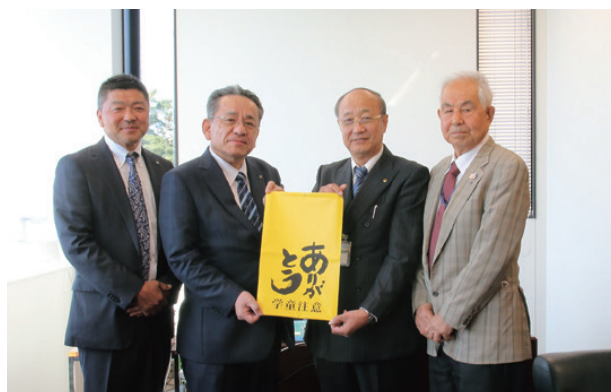


那須塩原市の有限会社橋本管材から、新型コロナウイルス感染症対策として水栓レバーハンドル430個が寄贈されました。レバーハンドルに交換することによって、腕や肘で水栓の開閉が可能になり、接触感染の予防対策として機能します。

橋本和彦代表取締役が、地元貢献のため役立ててほしいとの思いで寄贈された水栓レバーハンドルは、母校の紫塚小学校、大田原中学校並びに近隣の西原小学校へ配付されました。

3/24

子どもたちの安全のために 新入学児童ヘランドセルカバー寄贈



大田原ロータリークラブ、大田原中央ロータリークラブ、黒羽ロータリークラブの3団体から、市内小学校の新入学児童の入学を祝し、ランドセルカバー600枚の寄贈がありました。

黄色いランドセルカバーには、市の「ありがとう運動」の推進を踏まえて「ありがとう」の文字が入っており、新入学児童への交通安全の願いを込め、入学式に配付しました。

3/26

安全なワクチン接種
体制構築のために

公益社団法人大田原法人会からの寄附



公益社団法人大田原法人会より、新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止のため寄附がありました。この寄附金には、新型コロナワクチン接種開始にあたり、安全な体制構築や医療機関に対する協力の意が込められています。

今回の寄附金については、「新型コロナウイルス対策基金」に積み立て、新型コロナウイルス感染症の予防や対策などに活用させていただきます。

3/26

官民が連携して森林整備へ

大田原市地域森林整備推進協定を締結



大田原市の森林・林業の再生に向け、森林の多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、塩那森林管理署、大田原市森林組合、栃木県、大田原市で協定を結びました。

国有林と隣接する民有林との集約化を図ること、国有林と連携することで効率よく施業をおこなうこと、木材の出荷を共同でおこなうことで大口需要にも対応するなど、官民が一体となり森林整備を行います。

市史編さんだより vol.7

去る3月18日㊦、市総合文化会館ホールで、シンポジウム「おおたわらの自然と歴史・文化～湧水に見る動植物の生息と人の営み～」の収録を行いました。このシンポジウムは、本市の市史編さん事業と市文化財保存活用地域計画の作成に関する普及事業に当たります。

那須野が原の扇状地に立地する本市には、あちこちに湧水が点在しています。その湧水に着目し、自然・考古・民俗の各分野の先生方が、湧水を取り巻く動植物や人の営みについて議論を深めました。

当初は2月6日㊤に市民の皆さまの参加を募り開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止し、あらためて無観客で収録し、インターネット上で公開することにしました。内容は以下のとおりです。

◆第1部 講演

- 第1話「おおたわらの湧水とくらしの文化」(木村康夫氏)
- 第2話「おおたわらの湧水に見られる生き物」(刑部節氏)
- 第3話「イトヨ保全活動の取り組み」(荒井一夫氏)
- 第4話「縄文人と水とのかかわり」(上野修一氏)

◆第2部 公開討論

テーマ「おおたわらの自然と歴史・文化」
パネリスト 木村氏・刑部氏・荒井氏・上野氏
コーディネーター 海老原郁雄氏

収録した動画は、「大田原市公式YouTubeチャンネル」で公開していますので、ぜひご覧ください。

問 文化振興課 本 4階
TEL (23) 3135

普及事業報告①
自然と歴史・文化シンポジウム

第1部講演の様子(荒井一夫氏)



第2部 第2部公開討論の様子



公式YouTube